

「生き方死に方を考える社会フォーラム」公開シンポジウム

人の最期を考える

日時：2025年3月16日（日）14時～17時

場所：大阪大学中之島センター 10階 佐治敬三ホール

参加申し込み不要 参加費無料

本フォーラムは、人の最期のあり方と終末期の医療のあり方について2010年からたびたびシンポジウム等を開催して参りました。15年経過した今日、発起人であった大村英昭氏（2015年）、石蔵文信氏（2022年）、またたびたびご登壇いただいた中村仁一氏（2021年）、石飛幸三氏（2024年）も他界され、本フォーラムそのものもその最期について考えねばならない時期になりました。

今回、フォーラムの一つの区切りとして、改めて人の最期のあり方考える集いを開催したいと思います。これまで何度かご登壇いただいた、医師・作家の久坂部羊氏をお迎えして、みなさんとの問題について考えたいと思います。当日、お越しいただいた方に、フォーラムに関係する方のエッセーを集めた冊子をお渡しいたします。

14:00-14:45 ビデオ上映：石蔵文信氏最期のインタビュー「人生について」

14:50-16:15 講演：久坂部羊氏（医師・作家）「上手な最期を阻むもの」

16:20-17:00 講師、世話人、参加者のやりとり



講師紹介

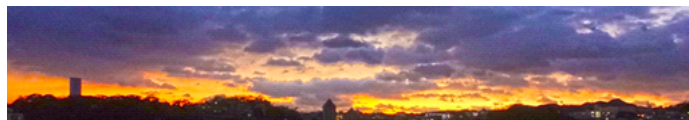
医師・作家 久坂部 羊氏

大阪大学医学部卒業。大阪大学医学部附属病院、大阪府立成人病センター、神戸掖済会病院、在外公館医務官、などを経て、2023年まで大阪人間科学大学教授。2003年『廃用身』で作家デビュー。2014年、『悪医』で第3回日本医療小説大賞を受賞。『破裂』（NHK）『無痛～診える眼～』（フジテレビ）など、映像化された作品も多数。歯に衣着せぬ医療批判とともに、人の最期のあり方についても医師として多くの提言、メッセージを発信している。『人はどう死ぬのか』（2022年、講談社）『寿命が尽きる2年前』（2022年、幻冬舎新書）『人はどう老いるのか』（2023年、講談社）など関連著書多数。本フォーラムには2012年11月3日に登壇いただき、「日本人の死に時」について講演いただきました。

主催： 生き方死に方を考える社会フォーラム

共催： 大阪大学人間科学研究科未来共創センター

IMPACT オープンプロジェクト「多様性の中のウェルビーイング」



Project
IMPACT


大阪大学人間科学研究科
未来共創センター

会場のご案内 <https://www.onc.osaka-u.ac.jp/access/>



〒530-0005 大阪市北区中之島 4-3-53

※大阪大学中之島センターの正面玄関は中之島通に面しております。10階建ての最上階がガラス張りで薄緑色に見える建物が大阪大学中之島センターです。

タクシーでお越しの際は、近隣施設や建物に中之島センタービル等類似した名称の建物がございませので、「大阪市立科学館 北側の『大阪大学中之島センター』」とお伝えください。



電車によるアクセス

- 地下鉄御堂筋線 淀屋橋駅より徒歩約 16 分
- 地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より徒歩約 10 分
- 京阪中之島線 中之島駅より徒歩約 5 分
- 阪神本線 福島駅より徒歩約 9 分
- JR 東西線 新福島駅より徒歩約 9 分
- JR 環状線 福島駅より徒歩約 12 分

バスによるアクセス

- 大阪シティバス(53 系統)
大阪駅前バスターミナル→中之島四丁目(旧玉江橋) 下車 徒歩 1 分
- 大阪シティバス(75 系統)
大阪駅前バスターミナル→田蓑橋下車 徒歩 2 分
- 北港バス(中之島ループバス ふらら)
JR 大阪駅西口→大阪中之島美術館前下車 徒歩 2 分

お問合せ先

565-0871 吹田市山田丘 1-2 大阪大学人間科学研究科 社会環境学講座 山中浩司

FAX: 06-6879-8078 email: yamanaka@hus.osaka-u.ac.jp

フォーラムHP : <https://ikikata-forum.com>

- 主催： 生き方死に方を考える社会フォーラム
- 共催： 大阪大学人間科学研究科未来共創センター
IMPACT オープンプロジェクト「多様性の中のウェルビーイング」

